

JICA地球ひろば訪問プログラム 「見て・聞いて・さわって」世界を体験!

独立行政法人 国際協力機構(JICA・ジャイカ)



プログラム概要

開発途上国の暮らしの現状や、地球が抱える課題、国際協力の実情などを、「見て・聞いて・さわって」体験できる展示と、途上国での活動体験談や開発教育教材を使った参加型学習(ワークショップ)を組み合わせたプログラムです。途上国での活動経験を持つ地球案内人が、展示を分かりやすく解説します。

対象者	小学生(高学年)、中学生、高校生	実施可能エリア	全国
テーマ	国際理解、社会課題解決	対応可能日	平日授業、平日放課後、土曜日、日・祝日や夏休み等の長期休暇
費用	全て無償	主な開催場所	JICA地球ひろば(東京)、なごや地球ひろば
所要時間	120分 ※60~120分でアレンジ可能	対応条件	特になし

活動概要

【活動のきっかけ】

「世界の人はどんな暮らしをしているの?」「国際協力って、私にもできるの?」「ボランティア仲間を増やしたい」。そんな市民の「国際協力したい・知りたい」を応援する場として、「JICA地球ひろば」はオープンしました。JICA地球ひろば(東京)は平成18年4月に設立され、平成21年には愛知県名古屋市に「なごや地球ひろば」が設立されました。

※「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」に関する企画展示など時期により、様々な企画を実施しております。SDGsは国連総会議長により、全世界の学校教育カリキュラムに盛り込むことが提唱されています。

【開発までのプロセス】

- ① 昭和37年 国際協力に関するエッセイコンテスト開始
- ② 昭和42年 教員向けの途上国視察研修開始
- ③ 平成13年 開発教育指導者※研修開始
※教員等を対象に、国際理解教育/開発教育の基本的な考え方や手法(参加型学習等)を学ぶ研修
- ④ 平成16年 国際協力出前講座開始
- ⑤ 平成18年 「国際協力を日本の文化に!」という猪方貞子氏のメッセージを受けJICA地球ひろばを東京に設立
- ⑥ 平成21年 JICA中部国際センター(愛知県名古屋市)内に「なごや地球ひろば」を設立
- ⑦ 平成26年 教育行政担当者向けの途上国視察研修開始

活動の特長・工夫

① 世界の人々の暮らしや課題を理解

途上国の子供が行っている水汲みの重労働を実際に体験したり、現地で使われている物に触れたりすることで、世界の人々の暮らしや課題に対する理解が深まります。

② 「地球案内人」によるわかりやすい解説

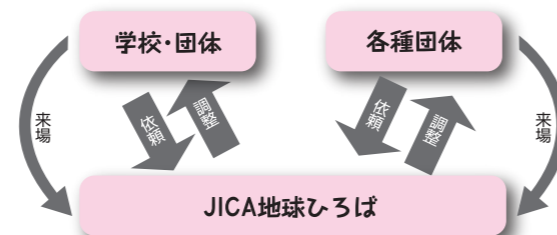
実際に開発途上国での活動経験を持つ「地球案内人」が展示を解説します。

③ 世界の食文化を体感

併設するJ's Cafe(食堂)では、食事(エスニックビュッフェ等)の予約も受けており、世界の食文化に触れることもできます。

※各団体様の御希望に合わせた食事の予約が可能です。

【実施体制】



実際に海外で国際協力の活動経験をした者が、体験談を語る活動を、全国の学校でも行っております。また、JICA地球ひろば以外にも、日本全国にJICA拠点があります。体験談を聞きたいという方は、最寄りのJICA国内拠点あるいは各都道府県の国際協力推進員まで御連絡ください。

各国内機関のウェブサイトはこちら
<https://www.jica.go.jp/about/structure/domestic/>

プログラム内容

【ねらい】

- 開発途上国の暮らしの現状や、地球が抱える課題、国際協力の実情を知る。
- 開発途上国の人々への共感や連帯感が育まれる。
- 世界のために自分ができることを考え、行動するきっかけをつかむ。

【進行概要(時間・内容)】 120分

STEP1
(40分)

体験ゾーン見学

クイズ形式の探検シートをもとに体験型展示を見学

ワーク

体験

STEP2
(20分)

JICAの事業や日本の国際協力について理解

レクチャー

STEP3
(50分)

地球案内人の話又はワークショップ

実際に開発途上国での国際協力活動経験があるスタッフが、現地での活動の話や日本との違いで苦労したこと、国際協力のやりがい等についてお話しします。あるいは、開発途上国の人々の暮らしや生活文化、社会状況などについて、写真や絵、ロールプレイなどを通じて考え、地球に生きる一人としての自分を見つめなおすきっかけをつくる参加型学習(ワークショップ)を行います。

レクチャー

ディスカッション

ワークショップ

STEP4
(10分)

アンケート記入(ふりかえり)

※御要望に応じ、エスニックビュッフェの手配も可能です。



児童・生徒の声

貧困の現状について知り、自らが置かれている場所がどれだけ直まれているのか思い知らされました。

児童・生徒の声

自分の生活とは直接かわりのないようなことに感じていた開発途上国の問題を、とても身近に感じることができました。

教員の声

日本の今後、世界の今後を考えるきっかけになった。授業に取り入れ、生徒に少しでも伝えたい。

本プログラムのポイント

- 開発途上国の人々の暮らしなど、地球が抱える課題を自分のこととして考える。
- 世界のために自分ができることを考え、行動するきっかけとなる。

今後の展望

- 従来の体験型展示に加え、LEDディスプレイやロボットなどの最新技術を導入した、来訪者の方にとってより分かりやすく、インパクトのある展示を目指しています。
- 来訪者の方の関心が高いトピックや、その時々旬の話題を取り入れた企画展示を行い、何度来ても新しい学びのある施設を目指しています。

企業・団体連絡先: ● JICA地球ひろば 地球案内デスク 〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5 JICA市ヶ谷ビル内
TEL: 0120-767278 03-3269-9090 e-mail: chikyuhiroba@jica.go.jp
● なごや地球ひろば 訪問プログラム担当 〒453-0872 愛知県名古屋市村区平池町4-60-7
TEL: 052-533-0220